

2022年9月7日

みなさん こんにちは～😊

地産地消の推奨と、健康のための食の提案としてお伝えしている土からキッチン！

今回は東郷町のお米農家の近藤さんのところに伺いました！

近藤さんは東郷町の有名人！知る人ぞ知る、実はすごなお方ようです😊

東郷町で生まれた東郷3号というお米。全国的には「しきゆたか」という名前で知られているそうです。近藤さんとお仲間は「せっかく地元の名前がついたお米だから地域活性に作ってみよう」と取り組まれたそうです。



農協広報抜粋

品種改良は今も継続して行われているそうです。今回様々な改良中の品種が植えられている田んぼにも案内していただきました。色も背丈も違うのがとてもよくわかりました。



東郷3号は1本の穂に付くもみが通常の3倍ほどあるそうです。



しかし近藤さん曰く、多くついても収穫時期に応じて穂先が未熟だったり根元が成熟しすぎたりと、美味しい部分は一部なんだとか。難しいとおっしゃっていました。

そして出来上がったお米は「チリリンべったんもろわ米」として商品化され、東郷町のこんどう珈琲店にて販売されるそうです。



とてもユニークな可愛らしいネーミング😊

この名前は、5つの地区からなる諸輪地区で古くから飾り馬が練り歩く祭りの時の鈴の音と、餅つきの音が響いていたことから「チリリンべったん諸輪村」と呼ばれていたところから名付けられたそうです。

近藤さんのご厚意でいただいたお米を早速炊いていただきましたが、香りはもち米のように甘くふんわりした香りで、大粒でとても、とても美味しいお米です。

おかず要らずのお米、多くは生産できないそうなので幻のお米といってもいいかもしれません😊

東郷町は子供達の給食にも力をいれておられ、このお米も不定期で一部の保育園などに使われることもあるそうです。

近藤さんは堂島ロールで有名なモンシェールの社長様ともお知り合いなんだそうです。

東郷町の給食用デザートに東郷町の米粉をつかったオムレットをモンシェール様と協力して開発し提供したそうで、町内の小中学校9校の子供達がよこび笑顔がこぼれたそうです。

すごいですね。今や堂島ロールは超有名なデザート。ビックリしました！

そしてもう一つは、「なごやど真ん中祭り」の発祥の地は近藤さんの田んぼなんだそう。

これもまたビックリです。

今年度の収穫～販売は10月からの予定だそうです。楽しみ♥

また今後も情報をお伝えしていきますね😊